

(4) ②様式第4号-2 (報告書)

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 島根大学大学院教育学研究科・島根県教育委員会／鳥取県教育委員会
コラボ研修プログラム	事業名： 若手教員の育成・支援を推進するミドルリーダー教員研修（2022）
支援事業報告書	研修等名： 【NITS・島根大学コラボ研修】 「若手教員の育成・支援を推進するミドルリーダー教員研修」(中期日程)
	開催日時：令和4年10月6日・27日 8時40分～17時10分 開催場所：島根大学教育学部附属山陰教員研修センター(島根県松江市大輪町416-4)【オンライン開催】 参加人数(総数)と参加者の属性：20人(学校教員19人、教育委員会1人)

内容： ※全体発表の内容をテーブル起こしするなど、具体的に記載してください。研修等の様子は、写真を右に貼り付けてください。

実施した研修の日程は右の表の通りである。各日 100 分×4 コマの研修に加えて、30 分の自己研修の時間を設定した。それぞれの時間の具体的な内容は以下の通りである。

10月6日(木)および10月27日(木)午前:各日程では、それぞれの観点の専門家に講師を依頼し、最先端の教育の動向や改革について具体的な事例を交えながら、研修を実施して頂いた。

10月27日(木)午後:事前に設定した各学校で取り組む PBL の課題について、各受講者が 20 分間(報告 10 分/質疑応答 10 分)の発表を行い、今後の各自の課題について再考した。

[課題とそれに対応する取り組みの抜粋]

■「組織の活性化につながる共創の場の演出」(課題)

⇒○仕事の分担の見直し・若手とベテランでチーム・一極化した仕事を分散 ○交流機会の創出 週1回時間を区切ってケース会議 若手を中心に運営(取り組み)

■「多様な課題を抱えている児童が生き生きと生活するために」(課題)

⇒○支援体制づくり(教育相談・特別支援教育コーディネーター・通級指導担当教員・生活適応指導員・養護教諭等との連携) ○井戸端会議的チーム会議 ○メンターチーム研修の活用 ○書籍の紹介 ○主幹教諭だよりの活用を工夫する。(取り組み)

各日の自己研修:個人研修(ワークシートへの記入:15 分)に加えて、5 人グループで各日の研修の学びを共有した。

成果： ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

◆研修終了後のアンケートでは、満足(「満足した」「だいたい満足した」と回答)した者の割合は 100%であった。

◆受講者の学びの一例は以下の通りであった。(受講者のワークシートより抜粋)

「常に考えている支援教育のことではあるが違う側面から考えることができた。自分の考えがいつの間にか凝り固まり、周りの人と十分に伝えあうことをしていなかったと感じた。書籍や研修等で、いろいろな知識は絶えず自分の中に入れ、何より現場での対話を大事にしたいと思った。」

「学校が子どもの学びの場としてだけでなく、地域の方の学びの場となることで、学校を核とした新たなコミュニティが形成されていくということが分かった。私は、総合的な学習の時間が鍵だと思った。」

アイデアや工夫したこと： ※3～5 つ程度の箇条書きしてください。

・中期日程として位置づく本研修の日程は長期休暇等に該当しないため、研修の受講に伴う移動の負担を軽減するために遠隔(同期型オンライン)によって実施したこと。

・中期日程の最終コマにおいて前期日程で設定した PBL(問題解決学習や課題設定・達成学習などプロジェクト学習)の進捗状況を共有する時間を設定することで、進捗状況の確認と問題点の再確認を行ったこと。

・自己研修の時間においてグループでの学びの共有を設定することで、オンラインでは希薄になりがちな受講者間の交流の促進を意図的に行ったこと。

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

表 日程表

		(中期)	
		10/6(木)	10/27(木)
		遠隔	
1 8:40 ～ 10:20	【選択②】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「学校の組織改革と地域連携のプロセス ～『学校の良き理解者』を増やすために～」 島根県立隠岐島前高等学校 学校経営補佐官 大野 佳祐 (大野先生よりもう一名の講師の推薦予定)	【選択④】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「コミュニティデザインからみた『学校』 ～学校と地域の創造性を高めるために～」 岡崎 エミ	
		オンライン実施	オンライン実施
2 10:30 ～ 12:10	【選択②】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「学校の組織改革と地域連携のプロセス ～『学校の良き理解者』を増やすために～」 島根県立隠岐島前高等学校 学校経営補佐官 大野 佳祐	【選択④】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「コミュニティデザインからみた『学校』 ～学校と地域の創造性を高めるために～」 岡崎 エミ	
		オンライン実施	オンライン実施
昼休憩(12:10～13:00)			
3 13:00 ～ 14:40	【選択③】 ★教育改善のための理論と方法 「『障害児』を包摂する教室空間」 常葉大学 健康プロデュース学部 講師 羽田野 真帆	★課題設定演習 「PBL中間発表」 島根大学 教職大学院 講師 松尾 奈美(司会) 学内教員(ファシリテーター)	
		オンライン実施	オンライン実施
4 14:50 ～ 16:30	【選択③】 ★教育改善のための理論と方法 「『障害児』を包摂する教室空間」 常葉大学 健康プロデュース学部 講師 羽田野 真帆	★課題設定演習 「PBL中間発表」 島根大学 教職大学院 講師 松尾 奈美(司会) 学内教員(ファシリテーター)	
		オンライン実施	オンライン実施
5 16:40 ～ 17:10	自己研修 (復習・意見交換・予習)	自己研修 (復習・意見交換・予習) PBL相談会	
		オンライン実施	オンライン実施

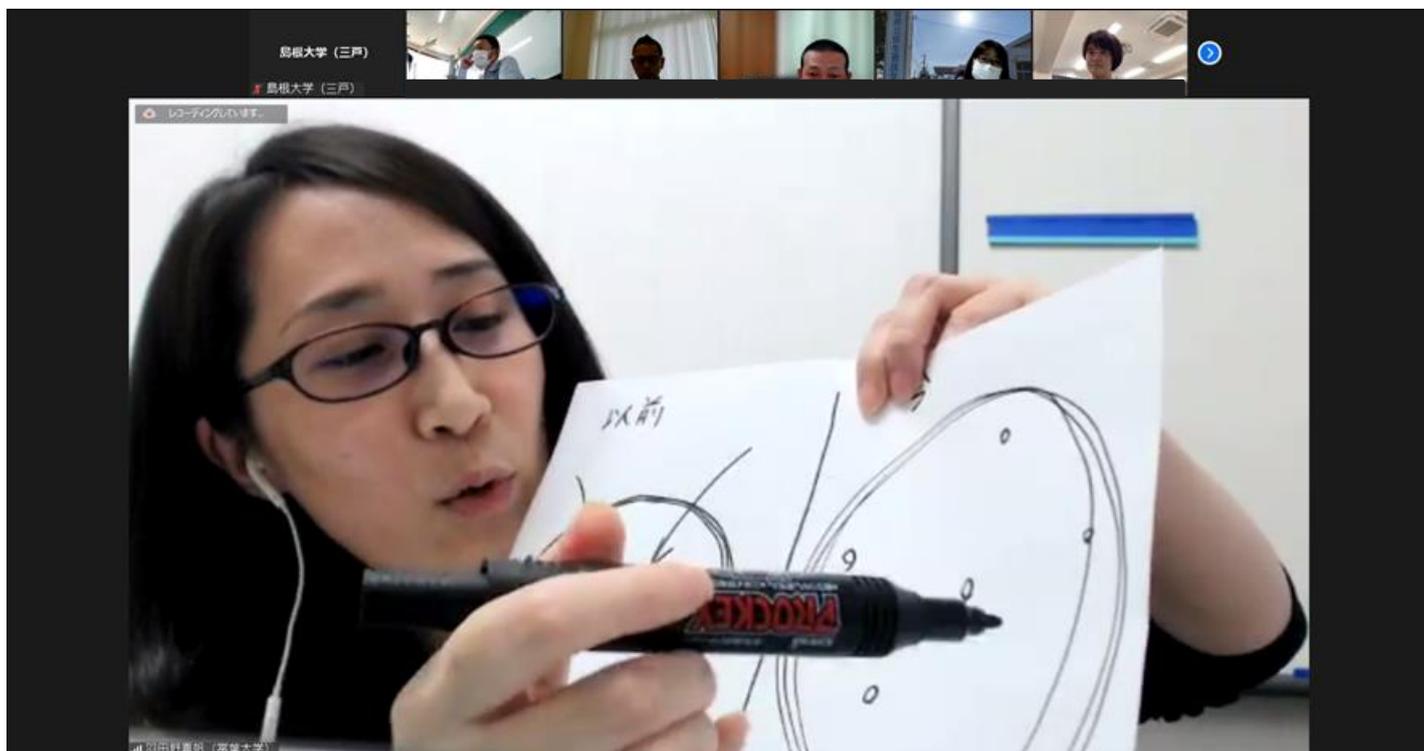


図 研修の様子(10月6日)